

令和5年3月31日

東御市議会議長

中村 眞一 様

会 派 名 さわやかな風の会

代表者氏名 長 越 修 一

## 令和4年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、  
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 記

|      |           |   |
|------|-----------|---|
| 交付金額 | 1,080,000 | 円 |
| 支出金額 | 1,292,717 | 円 |
| 差引金額 | -212,717  | 円 |

(支出の内訳)

(単位：円)

| 科 目       | 決 算 額     | 政務活動費充当額  | 説 明       |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 調 査 研 究 費 | 1,102,711 | 889,994   | 視察等       |
| 研 修 費     | 168,560   | 168,560   | 研修会等      |
| 広 報 費     |           |           |           |
| 広 聴 費     |           |           |           |
| 要望・陳情活動費  |           |           |           |
| 会 議 費     |           |           |           |
| 資 料 作 成 費 |           |           |           |
| 資 料 購 入 費 | 17,488    | 17,488    | 市議会会議録代   |
| 人 件 費     |           |           |           |
| 事 務 所 費   | 3,958     | 3,958     | プリンターインク代 |
| 計         | 1,292,717 | 1,080,000 |           |

(実施事業)

| 事 業 名  | 事 業 内 容  |
|--|--|
| 会派視察研修<br>会派合同視察研修<br>研修会参加<br>資料購入<br>消耗品購入 | 大村市、武雄市、熊本市へ視察研修<br>大田区、寒川町へ視察研修<br>自治体・公共Week 2022、市議会議員研修会、研究フォーラムへ参加<br>会議録の購入<br>プリンターインクの購入 |

政務活動記録簿

|      |  |
|------|--|
| 会派名  | さわやかな風の会                                       |
| 事業名  | 議会会派視察【大村市・武雄市・熊本市】                            |
| 実施日  | 2022年10月5日～7日                                  |
| 参加議員 | 依田俊良、長越修一、中村眞一、山崎康一、花岡豊一、村山弘子<br>齊藤哲、滝澤栄一、田中博文 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

1.大村市議会の議会運営ICT化への取組について

大村市で取り組んでいる議会ICT化の状況について、タブレット導入の経緯や効果、今後の課題などをお聞きし見識を深める。

2.武雄市図書館について

これからの図書館のあり方を学び、東御市に活かせる事を考え見識を深める。

3.熊本城災害復旧事業について

熊本城復興事業の進捗状況をお聞きし、災害復旧事業について見識を深める

2 経費

| 使途項目     | 経費の内容と内訳  |                                  | 金額 (円)  |
|----------|-----------|----------------------------------|---------|
| (該当項目に○) | 交通費 宿泊代他  | レンタカー代、新幹線代、パック旅行代等              | 579,500 |
| ○調査研究費   | 有料道路・駐車場等 | 有料道路代、駐車場代、ガソリン代                 | 15,770  |
| 研修費      | 日当        | 宿泊料、日当<br>(@13,000+@2,200×3日)×9名 | 176,400 |
| 広報費      | 視察先謝礼     | 視察先お土産代                          | 10,281  |
| 広聴費      |           |                                  |         |
| 要請・陳情活動費 |           |                                  |         |
| 会議費      |           |                                  |         |
| 資料作成費    |           |                                  |         |
| 資料購入費    |           |                                  |         |
| 人件費      |           |                                  |         |
| 事務所費     |           |                                  |         |
|          |           |                                  | 781,951 |

合計

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)




(No. 1)

|           |  |
|-----------|--|
| 実施日時      | 令和4年10月5日  |
| 視察場所及び部局等 | 長崎県大村市議会   |
| 視察事項      | 大村市議会の議会運営 ICT 化への取り組みについて   |
| 報告内容      | <p>(1) 視察先概要<br/>         大村市は長崎県のほぼ中央に位置し、穏やかな大村湾からは新鮮な海の幸、東には1000M級の緑豊かな山々からの自然的資源に恵まれている。市内には、長崎空港や長崎自動車道のIC、R4年9月に西九州新幹線が開業し住みやすい街となっている、人口は9万8千人余で産業別人口は第2次、3次産業を合わせて90%を超えている、<br/>         特徴としては企業会計でモーターボート競争事業があげられる。</p> <p>(2) 視察事項について<br/>         今後の議会運営でICTを活用していくために検討すべき課題と導入後の活用状況と効果について現状を知る。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること<br/>         市議会におけるタブレット端末の導入については、議会運営のコストを削減したい、紙資料の保管、検索の不便さがあげられ当市の課題と同じであった。<br/>         議会のICT化により事務局と議員間で情報や連絡等で事務の効率化が図られる環境整備ができたこと、また災害時に議員からの情報も対策本部に伝えられるなど緊急事態への対応が迅速に行なうことができたことは災害時の通信手段の一つとしての働きを知ることができた。<br/>         導入の経緯では全国的なICT化の動きの中スキルの高い議員の働きかけが大きく事務局や議運を中心として視察研究され導入スケジュールの検討から半年で試行運用となったことは驚きではあったが、十分な検討がされ計画することで早期に利用が開始できると理解した。<br/>         導入については、端末機器は使いやすいことは議員各位のスキルの違いと今後の新人への配慮、またどこでも利用できることが必要となる。<br/>         文書データの共有がされるのでシステムも使いやすいことなどが求められる中多くの自治体で利用されているシステムを実際に見ることができた。<br/>         問題点としては、議場で短時間の間に資料を閲覧するためには表示画面の大きさの制限から補助をしているなど、全面的な利用は今後の取り組みを見守ることとなるが事務局の事務連絡や議会外の行政情報の検索が容易になる、議会内の部分的ペーパーレス化による印刷等の職員負担の軽減につながっているとの説明は今後の議会事務の効率化のためのICTを進めていく必要を感じた。</p> |



### 3 実施概要

|        |  |
|--------|--|
| 実施日時   | 令和4年10月6日  |
| 実施場所   | 武雄市図書館・歴史資料館・こども図書館  |
| 研修会の名称 | 「武雄市図書館について」   |
| 報告内容   | <p>(1) 研修会概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の施設管理者制度の導入についての経緯は。</li> <li>・指定管理者制度の導入の効果は。</li> <li>・生涯学習の拠点としてイベントや講座を実施しておられるようだが、その内容は。</li> <li>・図書館改革を進めて来られた現在の課題は。</li> </ul> <p>(2) 研修内容について</p> <p>武雄市図書館・歴史資料館（たけおしとしょかん・れきししりょうかん）は、佐賀県武雄市が条例で設置を定めた、図書館と歴史資料館などで構成される市立の複合施設である。2000年10月1日開館。2017年の武雄市こども図書館の開館。</p> <p>図書館部分では2013年から指定管理者制度により、カルチュアコンビニエンスクラブ（CCC社、TSUTAYAの経営母体）が指定管理者となっている。</p> <p>指定管理料は年間で1億円の削減に繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の管理から外れたことで営業時間を9時～21時に変更でき、利用者の利便性UP</li> <li>・1年目から、来館者数360%、図書利用率203%、図書貸出冊数160%</li> <li>・本を借りる場所 → 体験する場所として生涯学習の価値を創生</li> <li>・各種講座・ワークショップ・収穫祭など多種多様なイベントをほぼ毎日開催</li> <li>・キャンプ・ヨガ・英語/韓国語講座・シニア向けスマホレッスン・著名人による講演会など</li> <li>・こども図書館では子育て支援センター・健康課と連携した親子参加の読み聞かせや遊び体験</li> </ul> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>営業時間（特に夜の時間）を延長したことが成功への第一ステップと言えるが、東御市の場合、近隣に人が集まる施設も少なく、時間延長は単純な人件費UPに繋がりがかねない。スターバックスとのコラボも、それを求めてどれだけの集客が見込めるか難しい。武雄市の場合は、たまたま便利な立地と建物の状態の良さも手伝った。</p> <p>だからリニューアルを機にCCCとの協業が成り立った。</p> <p>カフェは明るい場所設置できたし、レンタルDVDショップを置く場所もあった。だが、どこでも同じことができるわけではない。地域によって客層やニーズは違う。民間との協業は多くの場合、サービス改善、コストダウンにつながるが、うまく設計しないと従来の公立直営よりも悪くなる。</p> <p>元々が図書館と歴史資料館とが合体した建物であり敷地の広さをとっても規模が違いすぎて残念ながら今の東御市へ提案できるものは見つけれませんでした。</p> <p>将来、図書館を文化会館と併設するような話が出た場合には、是非とも積極的に参考にして頂きたいと考えます。</p> |

|               |   |
|---------------|---|
| 実施日時          | 令和 4 年 10 月 7 日   |
| 視察場所及び<br>部局等 | 熊本県熊本市 熊本城  |
| 視察事項          | 熊本城災害復旧事業について   |
| 報告<br>内容      | <p>(1) 視察先概要</p> <p>平成28年熊本地震により、熊本城は全域的に甚大な被害を受けた。<br/>熊本城復旧基本計画は同12月に策定された。この計画に基づき石垣・建造物等をはじめ、熊本城の効率的・計画的復旧と戦略的な公開・活用が進められている。<br/>その復旧の実情について視察を行った。</p>  <p>(2) 視察事項について</p> <p>熊本城の復旧では、文化財的価値の保全や都市公園と調和した重要な観光資源としての早期再生、将来の災害に備える安全対策が行われていた。<br/>被災した石垣・建物等の保全や、復興のシンボル天守閣の早期復旧、復旧過程の段階的公開と活用などを基本方針と定めて、復旧活動が行われていた。<br/>視察時は、天守閣の復旧が進み被災当時の面影は見られなかったが、その他の石垣や建物は被災当時の状態であり、市職員の説明により、復旧作業の困難さが伝わってきた。</p>  <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>復旧計画のひとつとして、地上約6mほどに位置する、仮設スロープによる見学通路が設けられていた。<br/>被災の状況と、復旧作業の進捗状況が、俯瞰的に見学することができ、災害の大きさがどれほど広範囲に及んだかが見て取れた。<br/>甚大な被害でありながら、復旧作業と見学が同時に行われている点は、これまでの常識にとらわれない柔軟な発想と復興計画であると感じた。</p>  |

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

|      |  |
|------|--|
| 会派名  | さわやかな風の会                               |
| 事業名  | 議会会派合同行政視察【東京都大田区、神奈川県寒川町】             |
| 実施日  | 令和4年11月10日（木）～11日（金）                   |
| 参加議員 | 長越修一、依田俊良、中村眞一、花岡豊一、村山弘子、斉藤哲、滝澤栄一、田中博文 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

【大田区】

- ・大田区で取り組んでいる議会ICT化の状況について、タブレット導入の経緯・効果、今後の課題について等をお聞きし見識を深める。
- ・「新産業創造・発信拠点」として建設された羽田イノベーションシティについては、設立の経過や実際の施設・取り組みを視察し、見識を深める。

【寒川町】

- ・「タブレット導入の取り組み」について、導入の経緯や利活用の状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

| 用途項目          | 経費の内容と内訳 |  | 金額（円）   |
|---------------|----------|--|---------|
| (該当項目に○)<br>○ | 交通費      | 貸切バス代、有料道路代等<br>(@20,553円×8名)                              | 164,424 |
| ○             | 調査研究費    | 視察先土産代<br>(@717円×8名)                                       | 5,736   |
| ○             | 研修費      |  |         |
| ○             | 広報費      | 日当<br>((@13,000円+@2,200円×2日)×8名+<br>@11,400円(当日キャンセル料)×1名) | 150,600 |
| ○             | 広聴費      |  |         |
| ○             | 要請・陳情活動費 |  |         |
| ○             | 会議費      |  |         |
| ○             | 資料作成費    |  |         |
| ○             | 資料購入費    |  |         |
| ○             | 人件費      |  |         |
| ○             | 事務所費     |  |         |
| ○             | 合計       |  | 320,760 |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

|                  |   |
|------------------|---|
| 実施日時             | 令和4年11月10日(木)<br>午後1時～午後4時  |
| 視察場所及び<br>部局等    | 東京都大田区議会・羽田イノベーションシティ   |
| 視察事項             | 議会ICT化の状況について<br>羽田イノベーションシティの取り組みについて  |
| 報<br>告<br>内<br>容 | <p>(1) 視察先概要</p> <p>大田区は羽田空港を代表とした流通の拠点として、多くの商業と工業の盛んな都市です。72万9千人の人口を抱える大田区の議員は定数50名となっており、情報伝達の効率化とそれにもなうペーパーレス化への取り組みが早い段階から進んでいる。また羽田イノベーションシティは日本の玄関口の羽田空港に隣接した土地の再開発を行い、世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を集約させ、国内外の企業が互いに交流することにより、新たなビジネスやイノベーションの創造や、日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信するまちを目指しています。</p> |
|                  | <p>(2) 視察事項について</p> <p>大田区で導入されているタブレット型端末「ipad」またクラウド型本棚「sidebooks」がどのようなものか？紙からタブレットへ移行した時の状況はどうだったのか？困ったことや大変だったことは？議案・委員会資料などの会議資料の閲覧をどうしているのか？どのくらいの紙の節約になるのか？また羽田イノベーションシティでは町工場で長い間培われた技術を集結してつなぎ合わせることで、新たな付加価値を産み出そうとしています。今後のものづくりの未来を視察させてもらった</p>                                     |
|                  | <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>東御市議会としてもペーパーレス化を目指しタブレットの導入をする。しかしペーパーレスだけの為にはなく、来庁せずに資料の確認が可能になったり、所属以外の委員会資料を閲覧することができるようになり、また検索も容易になることで、議員力の向上につながる。また、印刷・配布作業にかかっていた職員の負担の軽減にもつながり、事務の効率化が図られる。また羽田イノベーションシティではこれからの日本のものづくりに活路を見出す重要な拠点の一つになるという事で、将来の東御市のものづくりの方向性の一端を感じることができた。</p>          |

(視察先の写真等がある場合は添付)



3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

|                  |   |
|------------------|---|
| 実施日時             | 令和4年11月11日(金)<br>午前10時～午前11時30分   |
| 視察場所及び<br>部局等    | 神奈川県寒川町議会   |
| 視察事項             | タブレット導入の取組みについて   |
| 報<br>告<br>内<br>容 | <p>(1) 視察先概要</p> <p>寒川町は住民により開かれた議会を目指し、議会改革推進委員会を設置しいくつかの取り組み事項の一つとしてタブレット端末の導入に向けた検討が進められてきました。寒川町の人口約4万8千人。議員定数18名、議会全体で年間10万枚の紙資料を使用しており、資料作成や差し替えに多くの労力を費やしています。また白黒印刷では表や写真を効果的に活用できないといった課題を抱えていました。</p>             |
|                  | <p>(2) 視察事項について</p> <p>寒川議会で実際使われているタブレット端末のipadを操作させてもらう。また大田区とは違う文書共有システム「moreNOTE」はどういうシステムなのか?幅広い年齢層でも操作できるのか?議員間の連絡等を簡単にする「LoGoチャット」とはどういうシステムなのか?</p>   |
|                  | <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>デジタル端末とクラウド型データベースを活用してペーパーレス化と業務の効率化をはかり、チャット形式の情報共有ツールを導入して、情報伝達の瞬時化や正確性が必要であることを学んだ。東御市も同じようにタブレット端末を導入し、東御市議会にとってどういうシステムが使いやすいのか?タブレット端末先進地を参考にして検討していきたい。ICT化を進めスピード感をもった議会改革に取り組んでいく。</p> |

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

|      |                    |
|------|--------------------|
| 会派名  | さわやかな風の会           |
| 事業名  | 自治体・公共Week2022     |
| 実施日  | 2022年6月29日～30日     |
| 参加議員 | 花岡豊一、村山弘子、斉藤哲、田中博文 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

地方創世、スマートシティ、自治体DX、自治体向けサービス、地域防災などの項目に分かれ260以上の展示ブースがあり、担当者から導入した自治体や検討導入するまでの過程等についてお聞きし見識を深めた

2 経費

| 使途項目         | 経費の内容と内訳 |                                | 金額 (円)  |
|--------------|----------|--------------------------------|---------|
| (該当項目に○) 交通費 | 新幹線代等    |                                | 51,070  |
| 調査研究費        | 日当等      | 宿泊料・日当<br>(@13000+@2200×2日)×4名 | 69,600  |
| 研修費          |          |                                |         |
| 広報費          |          |                                |         |
| 広聴費          |          |                                |         |
| 要請・陳情活動費     |          |                                |         |
| 会議費          |          |                                |         |
| 資料作成費        |          |                                |         |
| 資料購入費        |          |                                |         |
| 人件費          |          |                                |         |
| 事務所費         |          |                                |         |
| 合計           |          |                                | 120,670 |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

### 3 実施概要

|        |   |
|--------|---|
| 実施日時   | 2022/06/29～30   |
| 実施場所   | 東京国際展示場（東京ビッグサイト）   |
| 研修会の名称 | 自治体・公共 Week 2022  |
| 報告内容   | <p>(1) 研修会概要</p> <p>地域の未来につながる出会いを求め<br/> 「住みやすい街作り」<br/> 「活性化」<br/> 「業務効率化」 につながる製品サービスの紹介</p> <p>(2) 研修内容について</p> <p>地方創世、スマートシティ 自治体DX 自治体向けサービス 地域防災に分かれ<br/> 展示エリアに260以上の出展ブースがあり、<br/> 担当者から導入した自治体や検討導入するまでの過程等について<br/> 紹介や質問を行った。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>今回、初めて参加する展示会であった。</p> <p>大きな会場でもあることからコロナ感染症の感染予防対策は、交通機関をはじめしっかりとした対応がとられていた、またコロナが落ち着いた状況でもあることから、全国から多くの来場者が来ていた。対象が自治体の関係者に対しての展示、出店であることから、今後自治体が取り組んでいくDX、複合的にデジタル技術を活用して住民サービスの向上を図ること、また災害時の情報等をリアルタイムに集約し行政の判断行動につなげるなどの実際に取り組んでいる事例が紹介されていた。</p> <p>今後当市に活用できることまた進めていかなければならないことなどいくつもの事例の中で気づくことがあった、なかでもDXを進めるには、庁内全体で取り組みへの機運を高め、ワーキングを進め、目標に向かってできることから、焦らずに着実に進めていた</p> <p>職員も市民であることを踏まえて、業務の効率化と、市民サービスの両立を図ることが 大切である。利用しやすくするために打ち合わせに時間がかかり開発に多額の費用が必要である。</p> <p>この問題については、DX で業務を効率化し自前のデジタル人材の育成を進めることで導入コストの削減とも繋がっていく。</p> |

政務活動記録簿

|      |   |
|------|---|
| 会派名  | さわやかな風の会  |
| 事業名  | 議会議員研修「議会基本条例と議会力・議員力向上について」                    |
| 実施日  | 令和4年4月27日（水）                                    |
| 参加議員 | 長越修一、依田俊良、中村眞一、山崎康一、花岡豊一、村山弘子、<br>斉藤哲、滝澤栄一、田中博文 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議会基本条例に関する知識の向上及び議会力・議員力の向上を目的として、議会全体で研修を行った。

2 経費

| 使途項目          | 経費の内容と内訳 |            | 金額（円）  |
|---------------|----------|------------|--------|
| (該当項目に○)<br>○ | 講師謝礼     | @2,000円×9名 | 18,000 |
| 調査研究費         |          |            |        |
| 研修費           |          |            |        |
| 広報費           |          |            |        |
| 広聴費           |          |            |        |
| 要請・陳情活動費      |          |            |        |
| 会議費           |          |            |        |
| 資料作成費         |          |            |        |
| 資料購入費         |          |            |        |
| 人件費           |          |            |        |
| 合計            |          |            | 18,000 |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

### 3 実施概要

|        |   |
|--------|---|
| 実施日時   | 令和4年4月27日(水)<br>午後1時30分～午後4時  |
| 実施場所   | 会場：東御市役所  |
| 研修会の名称 | 議会基本条例と議会力・議員力向上について  |
| 報告内容   | <p>(1) 研修会概要</p> <p>講師 (自治体議会研究所 代表) 高沖秀宜様</p> <p>1. 議会基本条例について</p> <p>① 条例制定の沿革と制定の状況</p> <p>② 議会基本条例の逐条解説とその論点</p> <p>③ 今後制定するにあたり、考慮すべき点</p> <p>2. 議会力・議員力の向上について</p> <p>① 議会力と議員力</p> <p>② 監視機能の強化</p> <p>③ 政策提案・政策提言機能の強化</p>  |
|        | <p>(2) 研修内容について</p> <p>議員が自由で活発な透明性の高い議論を進めて、より開かれた議会を目指すことが求められている。このため、議会及び議員の活動の充実と活性化を図ることを目的として、議会運営に必要な基本事項を定めた議会基本条例が制定されている議会が増えてきている。先進事例を学ぶ。</p> <p>また議会力と議員力の定義をもう一度確認し、二元代表制を追及していく為に必要な力を学ぶ</p>  |
|        | <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>議会は多様な民意を反映しつつ、団体意思の決定を行う機能と執行機関の監視を行う機能を担っているが、十分にその役割を果たしていないのではないかなどの指摘がなお見られるところである。</p> <p>近年、それぞれの議会において、議会の活動理念とともに、審議の活性化や住民参加等を規定した議会基本条例を制定するなど、従来の運用の見直しに向けた動きが見られるところであり自主的な取組が進められることが期待される。</p> <p>東御市ではどのような基本条例が合っているのか？他市の前例をさらに研究が必要である。</p> |

政務活動記録簿

|      |                     |
|------|---------------------|
| 会派名  | さわやかな風の会            |
| 事業名  | 全国市議会議長会研究フォーラムIN長野 |
| 実施日  | 2022年10月19日         |
| 参加議員 | 花岡豊一、村山弘子、田中博文      |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

DX推進の現状についての基調講演と、自治体の発表された内容についてパネルディスカッションされる中から、  
 当市でのDXの進め方について先進事例を参考にし、効率的な導入の進め方をお聞きし見識を深めた。

2 経費

| 使途項目     | 経費の内容と内訳 |            | 金額 (円) |
|----------|----------|------------|--------|
| (該当項目に○) | 交通費      | しなの鉄道代     | 2,010  |
|          | 参加負担金    | (@9000×3名) | 27,000 |
| 調査研究費    | 手数料      | (@440×2名)  | 880    |
| ○ 研 修 費  |          |            |        |
| 広 報 費    |          |            |        |
| 広 聴 費    |          |            |        |
| 要請・陳情活動費 |          |            |        |
| 会 議 費    |          |            |        |
| 資料作成費    |          |            |        |
| 資料購入費    |          |            |        |
| 人 件 費    |          |            |        |
| 事 務 所 費  |          |            |        |
| 合 計      |          |            | 29,890 |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

|           |  |
|-----------|--|
| 実施日時      | 2022年10月19日、20日  |
| 視察場所及び部局等 | 全国市議会議長会研究フォーラム IN 長野<br>長野ホクト文化会館   |
| 視察事項      | デジタルが開く地方議会の未来   |
| 報告内容      | <p>(1) 視察先概要</p> <p>全国市議会議長会の開催が長野市で開催され、国が進めるデジタル化について<br/>基調講演</p> <p>富山和彦 株式会社 経営共創基盤 (IGPI) グループ会長<br/>パネルディスカッション</p> <p>人羅 格、毎日新聞社論説委員<br/>岩崎尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授<br/>牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授<br/>湯浅壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授<br/>寺沢さゆり 長野市議会議長</p> <p>課題討議</p> <p>金沢克仁 取手市議会議長<br/>板津博之 可児市議会議長<br/>林 晴信 西脇市議会議長</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>基調講演では、コロナ後の地域経済と題して、富山氏が取り組んできた地方の民間交通 (バス会社) の経営について、利用者側に立った戦略を進めて経営を立て直していることが報告された。</p> <p>(</p> <p>3) 所感・市政に活かせること</p> <p>施策を進める中で地域住民の意見や思いを聞き、その中でデジタルを利用して多くの要望に対応できるよう検討していくが、直面する課題としては費用対効果の分析が重要である。</p> <p>しかし目前の問題にとらわれ本来住民が要望する内容とずれが起り仏を作って魂入れずとなってしまうようではせつかくの施策が時間と費用の無駄になる、</p> <p>このようなことを考えたとき長期的視野で取り組むことが一番重要となる。</p> <p>施策の検討段階から多くの住民の声を聴き、立案に活かしていくことが成功の近道であり、住民生活の向上、地域への愛着形成とつながっていく。</p> |

政務活動記録簿

|      |  |
|------|--|
| 会派名  | さわやかな風の会                                       |
| 事業名  | 東御市議会定例会等会議録購入                                 |
| 実施日  |  |
| 参加議員 | 依田俊良、中村眞一、長越修一、山崎康一<br>齊藤哲、滝澤栄一、田中博文、村山弘子、花岡豊一 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

本会議における議案の採決に至るまでの経過や審議された内容等について、今後の議会活動や市政の調査研究に活用するとともに、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入した。

2 経費

| 使途項目     | 経費の内容と内訳  |                   | 金額(円)  |
|----------|-----------|-------------------|--------|
| (該当項目に○) | 市議会会議録購入代 | 3月定例会 会議録         | 5,152  |
|          | 〃         | 6月定例会 会議録         | 3,420  |
| 調査研究費    | 〃         | 9月定例会 会議録         | 4,272  |
| 研修費      | 〃         | 第2回臨時会(11/23) 会議録 | 648    |
| 広報費      | 〃         | 12月定例会 会議録        | 3,996  |
| 広聴費      |           |                   |        |
| 要請・陳情活動費 |           |                   |        |
| 会議費      |           |                   |        |
| 資料作成費    |           |                   |        |
| 資料購入費    |           |                   |        |
| 人件費      |           |                   |        |
| 事務所費     |           |                   |        |
| 合計       |           |                   | 17,488 |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと



政務活動記録簿

|      |  |
|------|--|
| 会派名  | さわやかな風の会                                       |
| 事業名  | 会派プリンターインク代                                    |
| 実施日  | 2022年 8月23日 12月27日                             |
| 参加議員 | 依田俊良 長越修一 中村眞一 山崎康一<br>花岡豊一 村山弘子 斉藤哲 滝澤栄一 田中博文 |

1 東御市における課題と研修・調査の目的

会派室設置のプリンター用インクを購入した。

2 経費

| 使途項目          | 経費の内容と内訳                   |  | 金額 (円) |
|---------------|----------------------------|--|--------|
| (該当項目に○) 事務所費 | プリンターインク代<br>(2098円+1860円) |  | 3,958  |
| 調査研究費         |                            |  |        |
| 研 修 費         |                            |  |        |
| 広 報 費         |                            |  |        |
| 広 聴 費         |                            |  |        |
| 要請・陳情活動費      |                            |  |        |
| 会 議 費         |                            |  |        |
| 資料作成費         |                            |  |        |
| 資料購入費         |                            |  |        |
| 人 件 費         |                            |  |        |
| ○ 事 務 所 費     |                            |  |        |
| 合 計           |                            |  | 3,958  |

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと